



1 牛の乳房にミルクを搾る機械を装着し搾乳。「毎日意識しているのは牛の健康。食欲、便の様子、乳の量に気を付けています」と生産者の佐藤昇さん。2 搾乳したミルクは、パイプラインで冷却・攪拌（かくはん）機能のある貯蔵タンクまで送られます。3 平成18年には消費者交流会も実施。4 「酪農は毎月乳代として見込んだ入金があり、収入は安定している」と千葉正胤（まさたね）酪農部会長。5 お母さん牛たちの牛舎。6 店頭に並ぶ「森吉高原3.7牛乳」。平成4年から森吉地区の酪農家が共同で販売しているPB商品。



JAあきた北央 森吉高原牛乳

北秋田市で売っている「森吉高原牛乳」が美味しいと聞きました。どこで作っているのですか。酪農についても教えてください。



解説 JA TANKENTAI



ナビゲーター
JAあきた北央
営農部流通販売課
主任
吉田 満さん



搾乳を始めてから約2800日から3000日経つと、次の出産に備えて約2カ月間搾乳を休みます。この時期の牛を「乾乳牛」と呼びます。このサイクルを1周期と言います。牛の平均寿命は本来12年くらいですが、乳牛の場合は約3回から5回乳牛としてのサイクルを繰り返した5年から6年後にはその役目を終え、食肉などへ回されます。

乳牛（ホルスタイン）のメスは、生後18カ月くらいに最初の種付けをします。牛も人間と同じで、出産をすることで初めて母牛としてミルクが出るようになります。出産から約300日間、毎日ミルクを搾ります。ミルクの量は出産後2カ月から3カ月が最も多く、その後は少しずつ減っていきます。

搾乳を始めてから約2800日から3000日経つと、次の出産に備えて約2カ月間搾乳を休みます。この時期の牛を「乾乳牛」と呼びます。このサイクルを1周期と言います。牛の平均寿命は本来12年くらいですが、乳牛の場合は約3回から5回乳牛としてのサイクルを繰り返した5年から6年後にはその役目を終え、食肉などへ回されます。

「森吉高原3.7牛乳」は、乳脂肪分3.7%でコクがあり地元でも美味しいと好評です。1日約3千パック出荷されています。乳牛のライフサイクルについて教えてください。

●搾乳がハイテクなので驚きました！これからも美味しい牛乳を楽しみにしています！

地域循環型農業への取り組みとして、家畜の排泄物を（南）北秋田市有機センターで完熟堆肥に処理しています。管内のほとんどの酪農家には後継者がいるので、今後も減農薬栽培による安全で健康な農産物の産地化に大いに貢献できると思います。そして何より、美味しい「森吉高原牛乳」を毎日飲むことが嬉しいですね。

酪農が地域に果たす役割は？

オスが生まれる時はどうするの？
また、生産者さんの一日の生活は？

DATA 森吉地区乳牛飼養頭数・戸数の推移

年	頭数	戸数
S30	40	
S40	178	31
S50	477	16
S60	562	13
H16	566	8
H20	559	8

S60年は、一戸平均約43頭（一頭あたり平均生乳生産量約6,000kg）。H20年は、一戸平均約70頭（一頭あたり平均生乳生産量約8,600kg）。大幅に伸びている。

■お問い合わせ先
JAあきた北央
営農部 流通販売課
TEL.0186-72-4188
<http://www.ja-hokuo.jp/>